本当の教えに出遇うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

無碍の一道　第98号

発行:2026年9月10日
発行者:浄土真宗本願寺派　長尾山 天龍寺
住職 天野英昭
〒739-0147　東広島市八本松西6丁目10番1号
Tel・fax(082)428-1360



行事予定（９月～１１月）

残暑お見舞い申し上げます



行　事	日　時	ご講師	場　所
秋季彼岸法座	９月１６日（水） 朝席　9:00～ 昼席　13:00～	豊田郡大崎上島町 浄泉寺住職 加藤　一英　師	天龍寺本堂
報恩講並びに 永代経法座	１１月１６日(月) 朝席　９：００～ 昼席　１３：００～ 昼食を用意致します。	広島市西区 善法寺坊守 前田　純代　師	天龍寺本堂

天龍寺墓苑合同墓　秋季合同参拝について

９月２３日（水）　１５：００～１６：００

合同墓前にて秋季彼岸のお参りを行います。

関係者の方はお参りください。



お　知　ら　せ

仏教壮年会例会　毎月月末　14:00～15:30
歎異抄輪読会　木曜日　14:00～15:30　（９月は２４日です。）
ご参加の方へはラインでお知らせ致します。



磯松天龍寺墓苑盆法要参拝お礼

８月12日（水）18：00より、天龍寺墓苑のお盆の合同参拝を執り行いました。
今年度も多くの皆様に、ご参拝を頂き誠にありがとうございました。また、今年はお経が始まりますと、急に雨が降り出し、参拝の方々には大変ご迷惑をおかけしました。ただ、個人的な意見として、雨が激しく降りしきる中、狭いテントの中で、皆様と笑いながらお話が出来ましたことは、有難いご縁を頂いたと思っております。
重ねて雨の降る中、温かいご縁を頂きました事に、厚く感謝申し上げます。

南無阿弥陀仏

ひとくち法話



お釈迦様のお弟子の一人に「仏説阿弥陀経」にもお名前のある、周梨槃特（しゅうりはんどく）と言われる方がいらっしゃいます。この方は物覚えが悪く、お釈迦様の教えを何一つ覚えることが出来ませんでした。そこでお釈迦様に「私は愚かで何も出来ません、ここを去らせてください。」と申し出られました。お釈迦様は「自分を愚かだと知っているものは、愚かではない、本当に愚かなのは自分を賢いと思っているものだ。」と諭され、今日からは「垢を除かん、塵を払わん」と言って掃除をするようにと一本の箒を与えられました。それから周梨槃特は「垢を除かん、塵を払わん」と一心に掃除を続けられたそうです。そのうちに塵や垢は目にみえるものだけではない、それは自分の心の中から終わりがなく湧き上がってくるものなのだということに気付いていかれました。そしてついに、お釈迦様の立派なお弟子となられたそうです。

さて、日本では、義務教育のカリキュラムの中に学校掃除があります。これは世界でも珍しい事だそうです。自分の使う場所をきれいに保ち、物を大切にする気持ちやみんなと協力してやり遂げる協調性、自分が卒業したあとに同じ場所を使う誰かを思いやる気持ちなどを知らず知らずのうちに学び、日本人の人格形成に大きく貢献しているそうです。

サッカーの選手や観客が、大リーグの大谷選手をはじめ日本人選手が、当たり前のようにごみをひらい綺麗にして帰る行為の根底に、お釈迦様の教えがあり、学校掃除を取り入れて下さった方々の慧眼があることに驚かされました。

浄土真宗では「こころの垢、こころの塵」は煩悩という言葉で聞かせて頂いています。決してなくなりはしない煩悩だからこそ阿弥陀様が願いをかけてくださる。ありがたいことです。

お釈迦様は掃除を続ける周梨槃特に陰ながら、手を合わせていらっしゃったそうです。



南無阿弥陀仏

（文章は天龍寺坊守でした。）